

会 議 概 要

1 会議名	令和8年度 第1回 笠間市子ども・子育て会議
2 開催日時	令和8年7月3日(金)午後3時～午後4時
3 開催場所	市民センターいわま 2階 会議室
4 出席者	笠間市子ども・子育て会議委員 20名(欠席1名)、事務局
5 会議資料	・会議次第 ・資料1 令和7年度子ども・子育て支援事業計画実績報告について ・資料2 令和8年度笠間市の子育て支援について
6 会議の概要	1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 議 事 (1) 令和7年度子ども・子育て支援事業計画実績報告について (2) 令和8年度笠間市の子育て支援について (3) その他 4. 閉 会

<議 事>

(1) 令和7年度子ども・子育て支援事業計画実績報告について

【資料1に沿って事務局より説明】

○令和7年度から令和11年度を計画期間とする第3期計画に掲載されている19事業及び幼児教育、保育施設の提供体制について、令和7年度の状況を各担当から報告

意見・質問等(委員)	回答(事務局)
意見なし	

(2) 令和8年度笠間市の子育て支援について

【資料2に沿って事務局より説明(新規拡充を中心に抜粋)】

1. こどもまんなか社会づくりの推進

◆民間乳児等通園支援事業(事業費:19,008千円)

保育所等に通っていない生後6ヶ月から3歳未満の子どもが1ヶ月当たり10時間までの利用可能枠の中で、保護者の就労要件に関わらず時間単位で民間認定こども園が利用できる通園制度。

◆5歳児健康診査事業(事業費:2,190千円)

就学前に子どもの得意なことや苦手なことを把握し、対応を考える準備の機会として、これまでの巡回型の発達相談から集団型の健康診査へと今年度から移行した事業。

医師や保健師、心理士や管理栄養士などによる身体の発育や発達、集団の中での様子の確認の他、就学に向けての相談などを実施し、適切な関わり方などを保護者と一緒に考えていく事業。

◆休日・夜間小児オンライン診療事業(事業費:7,540 千円)

中学生以下を対象としたスマートフォンで医師に相談受診ができる、小児オンライン医療サービス。医療相談とオンライン診療の二つのメニューからなっており、医療相談は無料で24時間365日チャット形式で医師への相談が可能で写真などの添付もできるようになっている。有料のオンライン診療では、平日の夜間や日曜日にビデオ通話により診察が受けられる。

◆子育て支援アプリ運用事業(事業費:693 千円)

子育て支援アプリに、6月からオンライン予約できる機能を追加。これにより、24時間スマートフォンなどから予約可能になった。

また、予約情報をまとめて管理することができるため、事務の効率化にも繋がっている。

◆プレコンセプションケア推進事業(事業費:472 千円)

プレコンセプションケアとは、妊娠前の健康管理という意味で、若い世代からの健康増進や将来にわたり、心身の健康を育むこと、妊娠や出産の可能性を高め次世代の子どもたちの健康を守ることを目的としている。

本事業では、プレコンセプションケアを受診された方に、その費用の一部を助成し、健康作りのきっかけを支援している。

2. 子育て徹底応援

◆保育料完全無償化事業(事業費:146,155 千円)

令和8年4月より第1子も含め保育料の完全無償化を開始した。

保育所、認定こども園、地域型保育施設に入园する0歳児から2歳児の子どもを対象とし、子育て世帯の経済的な負担軽減を図っていく。

◆小学校給食費無償化事業(事業費:128,603 千円)

国の交付金を活用した小学校の給食費完全無償化を実施することで、保護者の負担軽減を図る。

物価高騰が続く中、給食費を無償化することにより保護者が安心して子育てに励める環境作りを推進していく。

◆エコランドセル給付事業(事業費:9,460 千円)

エコランドセル給付事業は、令和6年度より希望制で実施していたが、令和9年度の新入学生から指定化となる。

回収ペットボトルを原料としたリサイクル再生繊維を一部使用しており、環境問題の意識啓発に繋がっている。また、一般的なランドセルに比べ軽量になっていたりタブレット専用ポケットを完備した仕様となっている。

6. 教育環境の充実

◆校舎 LED 照明設備事業(中学校)(事業費:83,712 千円)

学習環境の向上や維持管理コストの削減、さらには脱炭素社会の推進を目的に、順次校舎のLED照明化を進める。

今年度は岩間中学校の整備工事を実施する。

7. 寄り添う教育支援の強化

◆校内フリースクール事業(事業費:20,567 千円)

不登校生徒に対する支援のため、自分のクラスに入りづらい生徒が落ち着いた空間の中で自分に合ったペースで学習、生活ができる環境として学校内にフリースクールを開設している。

校内フリースクールには支援員を配置し、居場所の提供の他、学習支援や学級復帰支援を行っている。

意見・質問等(委員)	回答(事務局)
・5 歳児健康診査について、受診時間が 3 時間かかり、子ども・保護者の負担が大きいとの声があるため、実施時間の短縮や運営方法の見直しを検討してほしい。 また、就労している保護者に配慮し、幼稚園終了後の時間帯とするなど、参加しやすい実施時間の設定を検討してほしい。	・国は令和 10 年度までに全国 100%の実施を目指しており、笠間市は今年度から開始した。 お子様、同伴される保護者様にご負担なく実施、かつ健診としての中身も適切にできるよう実施しているところだが、ご意見の通り改善できるところもある。今後、工夫を重ねながら内容や流れも検討していけるように努めたいと考えている。
・子育て支援アプリ運用事業について、アプリではどのような予約ができるのか伺いたい。	・子育てアプリのオンライン予約では、今のところ 12 事業の予約が可能となっており、妊婦面談やマタニティ教室、離乳食教室などの予約ができる。 今後、さらに予約できるメニューを増やしていきたいと考えている。
・一時預かりやこども誰でも通園制度など、類似する事業が複数あり利用者にとって分かりにくいいため、それぞれの違いや、事業を一本化できないか伺いたい。	・民間乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)は、国の制度で 0～2 歳児が定期的に家庭以外で過ごすことで成長を促すことを目的としている。一方、一時預かり事業は、保護者の都合などにより一時的な保育を必要とする場合に利用するものである。目的が異なるため、それぞれ役割を分けて実施している。
・校内フリースクール事業は、支援員を配置するというお話があったが、正規の先生はフリースクールの担当にはなっていないのか伺いたい。	・校内フリースクールでは、児童生徒への対応は元教員が中心となって行っている。教頭が施設面や学校との調整、相談対応を行い、連携しながら運営している。

意見・質問等(委員)	回答(事務局)
・プレコンセプションケア推進事業は具体的にどのような検査が対象となるのか、また、対象年齢は設けているのか伺いたい。	・妊婦前の健康管理や体作りを目的として実施した検査に対し、要綱に定められた範囲で男女問わず費用を助成している。具体的には、血液検査(コレステロール・血糖などの一般的な血液検査、性感染症検査(梅毒等)、抗体検査(風疹・B型肝炎等)、鉄・葉酸・甲状腺ホルモンなどの血液検査)やカウンセリングなどである。 対象年齢は設けていない。

(3)その他

意見・質問等(委員)	回答(事務局)
意見なし	